

第1回 買物公園のあり方検討会議



構成団体

- ・旭川市
- ・地元商店街
- ・経済団体
- ・観光団体
- ・まちづくり会社
- ・金融機関
- ・交通管理者

など

目的

- ・滞在機能強化
- ・回遊性向上

取組

- ・来街動機付け
移動手段の確保
憩い空間の確保
賑わいの創出
- ・R6社会実験内容検討

目的

- ・ビジョン実現に向けた
取組の効果測定

取組

- ・エリアの滞在機能強化
→憩い空間の創出
- ・エリア内の回遊性向上
→新しい移動手段
- ・エリアの来街頻度向上
→多様な目的づくり

など

エリアプラットフォーム

エリアの活性化を図る活動を行うことを目的として、エリアの将来像・実現するための取組をまとめた未来ビジョンを策定し、策定後には、ビジョンに基づき、将来像の実現に向けた取組を行う組織

エリアプラットフォームって何だろう？

行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、まちづくりや地域課題解決に関心がある企業、自治会・町内会、商店街・商工会議所、住民・地権者・就業者などが集まって、まちの将来像を議論・描き、その実現に向けた取組（＝まちづくり）について協議・調整を行うための場が、エリアプラットフォームです。

「エリアプラットフォーム」とは、おおむね以下の要件が揃った協議の場です



エリアに関わる様々な仲間と集まり協議をする



まちづくりに関する実績を有する専門人材からの支援を受けている



エリア価値の向上・将来像に向けた実現が目的



緩やかな協議の場（プラットフォーム）

※国交省「まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォーム」より抜粋

エリアプラットフォームの構成者

未来ビジョン

関係者間で共有

まちづくり団体等

地域のまちづくりを推進する組織として、中核的な役割を担うことが期待されます。

商店街・経済団体

事業者や地域企業の代表として、ノウハウやネットワークを活かして活動されることが期待されます。

まちづくりに関心 を有する地域団体

地域団体が取り組んでいる活動との連携により、活動フィールドや取組内容の発展が期待されます。

金融機関等

事業による知見を活かしつつ、地域で活動する主体として、まちづくりに参画することが期待されています。

まちづくりに関心 を有する市民等

まちづくりに関心を有し、今後のまちづくり活動に関わることが期待されます。

行政

まちづくりに関する施策との連携や、民間主体による取組へのサポート。

エリアプラットフォーム
(まちづくり活動の担い手)

専門人材

まちづくりにおけるコーディネーターや専門的な知見に基づく助言・支援が期待されます。

未来ビジョン

未来ビジョンとは、エリアプラットフォームにおいて策定される次に掲げる事項を記載した構想。

(1) 対象とする地域の特性の現状分析

都市の魅力や国際競争力を備えた都市を構築するため、現状のエリアの魅力（強み）や課題を抽出・分析。

(2) 地域の特性を踏まえた目指す将来像

内外の多様な人材に対し、魅力的でわかりやすいビジュアルにより、エリアの将来像を示す。

(3) 目指す将来像に向けた取組と役割分担

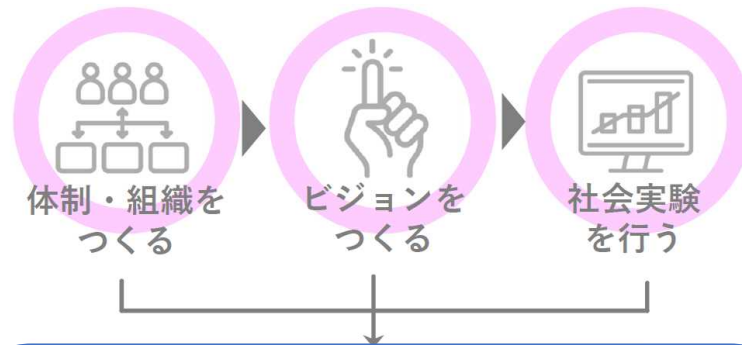
まちなかの将来像を実現するための方針や施策、実施体制（役割分担）を記載。

(4) 目指す将来像に向けたロードマップ

まちなかの将来像を実現するため、各段階ごとの取組の内容等を記載。

※国交省「官民連携都市再生推進事業制度要綱」より抜粋

活動初期（組織立上げ・将来像の共有）



目指す将来像(未来ビジョン)の実現！



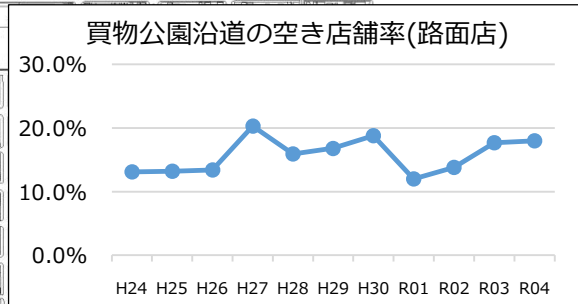
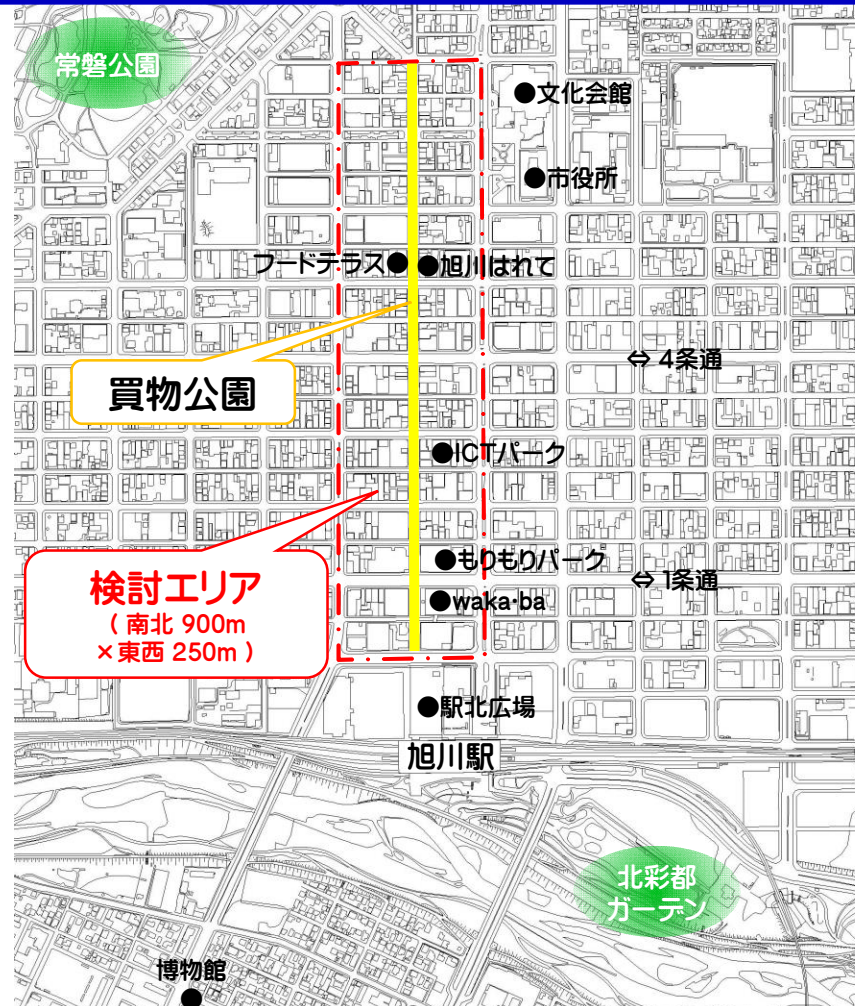
検討エリアと買物公園について

買物公園での主な定例イベント

4月	
5月	
6月	旭川ミュージックウィーク(音楽大行進), まちなかキャンパス, 買物公園まつり, まちなか賑わいSTREET
7月	まちなかビアガーデン 三和・緑道フェスティバル まちなか賑わいSTREET, まいど朝市
8月	旭川夏まつり, 緑道文化まつり まちなか賑わいSTREET, まいど朝市
9月	北の恵み食ベマルシェ
10月	あさひかわハロウィンイベント
11月	
12月	
1月	
2月	氷彫刻世界大会
3月	旭川フードテラスまつり

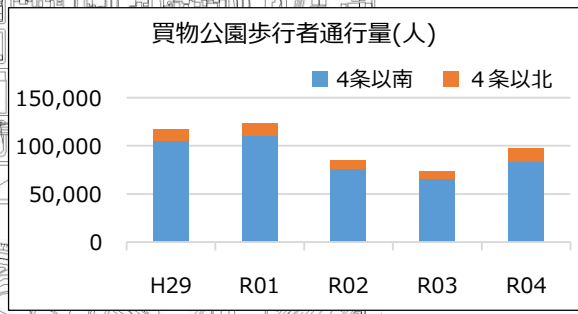
その他常設イベント等

4月末～9月末	オープンテラス
6月～9月	ハナアカリ
11月～3月	あさひかわ街あかりイルミネーション



宿泊施設の増加

ホテル名	所在地	開設年	客室数
1 ホテルアマネク旭川	1条通8丁目	R03.10月	221
2 ワイズホテル旭川駅前	宮下通9丁目	H30	160
3 ホテルルートインGRAND旭川駅前	宮下通8丁目	H28.3月	342
4 J RINN	宮下通7丁目	H27.4月	198
過去10年 計			921
5 スーパーホテル旭川	宮下通11丁目	H23.3月	91
6 ドーミーイン旭川	5条通6丁目	H22.3月	174
合計			1186



買物公園(道路空間)と路面店(Eye level)

- 議論の中心とするエリアは、道路である買物公園と沿線路面店
- 議論した取組は緑橋通や昭和通など周辺エリアへ広がっていく



Eye level

Eye level

道路幅員20m

- 1965年 「買物公園」構想の公表
- 1966年 「買物公園調査報告書 平和通商店街意向調査」まとめる
- 1967年 「あなたのかいもの公園」発行
- 1969年 12日間の社会実験（看板には「旭川平和通買物公園」と記載）
- 1972年 歩行者専用道路として公示，6月1日恒久的歩行者専用道路の開通（市道名：平和通歩行者専用道路）
- 2022年 歩行者専用道路として50周年



周辺への
広がりを
期待

昭和通

緑橋通

動態調査(ポイント型流動人口データの活用)

- マルチキャリア(docomo,au,SoftBank,Rakuten)のGPSデータ
- 1～5%の抽出率
- 人の動き(緯度経度)を分単位で観測,「点→線」で把握
⇒【回遊状況(立寄施設)】
- 分単位の時系列変化 ⇒【滞在時間】
- 来訪者の推定居住エリア・推定勤務エリア ⇒【属性】
- 性別,年代 ⇒【属性】

わかること

例えば

- ▶ 駅からどこに向けて人の流れがあるのかなどの主要動線の把握
- ▶ 平日と土日祝日の人流の変化
- ▶ 施設単位の来訪者把握(属性別の動き)



<https://www.agoop.co.jp/service/dynamic-population-data/>

その他調査等

① Webアンケート

目的

- 1) 非来街者へ来街阻害要因等を確認し, 来街のハードルを除去する
- 2) 買物公園のあり方検討会議での議論に活用

調査概要

- 1) ネットリサーチにより非来街者を抽出
- 2) 阻害となっている要因をアンケートにて把握
- 3) 取りまとめた結果を分析

調査主体

事務局(市) + 委託事業者

② 商業関係者へのヒアリング

目的

- 1) 買物公園の主な事業者である商業関係者が思う「これからの買物公園」について, ヒアリング(意見交換)を実施
- 2) 買物公園のあり方検討会議の議論に活用

調査概要

- 1) 各商店街, 5～7名程度での意見交換会
- 2) 回数は参加状況に応じて調整
- 3) 意見は買物公園のあり方検討会議で紹介

調査主体

事務局(市) + 商店街等

今後のスケジュール（会議の議論内容等）

あり方検討会議スケジュール(予定)

